

# 木製残存型枠

“従来のコンパネ型枠に慣れている”

“木製残存型枠というやつは、面倒だと聞いている”

これは、従来のやり方で出来ます！

3層の板で作ったメッシュ構造の  
木製残存型枠！！

簡単！軽量！ノロが出にくい！  
間伐材を使用してエコ！

## 木製メッシュパネルーSUN



\* 防腐処理なし



\* 防腐処理モスグリーン色

### 「木製メッシュパネルSUN」の特長

#### 1. だれでも簡単！確実施工！軽い！

施工は、コンパネ型枠の要領で、だれでも簡単！  
サネがついているから、がっちり！通りも出やすい！  
軽いので、クレーンで吊り込まなくても、O. K！

#### 2. きれい！ノロが出にくい！

残存型枠は、ノロの染み出しが心配？  
防水テープや防水シートは不要です。

この木製メッシュパネルーSUNは、  
シンプルな構造で、ノロの染み出しを防ぎます！

#### 3. 県産間伐材(SGEC認証材)！循環型！

##### 景観も良い！

産地証明付の間伐材を使用。

森を守る取り組みに貢献しています。



## ◎施工が簡単なのは、なぜ？

---施工は、コンパネ型枠を  
**木製メッシュパネルSUM**に置き換える感覚。

今までコンパネ型枠を使っている方なら、施工できます。  
また、一枚が15kg程度と軽いので、小運搬も簡単。

(施工方法) 従来通り、鋼管支保を使います。  
一回の打設高さは、1m~1.5mです。  
打設後は、パネルを残して支保鋼を撤去。

- ①製品サイズ・・・高さ500mm、幅1,000mm 1枚当り15kg程度。
- ②サネがついている・・・上下左右にはまり、通りが出やすい。
- ③孔あけいらず・・・メッシュ構造なので、セパ用の孔あけが不要。  
(ただし、水抜きパイプ用の孔は現場であけてください)



## ◎ノロが出にくいのは、なぜ？

---木製メッシュパネルSUNの”3層”が解決。

☞残存型枠の最大の敵、”ノロ”(コンクリートの打設時に、型枠の隙間からでる、コンクリートの汁!)。くい止めようとすればするほど、隙間を見つけて噴出してきます。

☞今までの残存型枠は、内側に防水シートを張ったり、製品の継ぎ目にシールを貼ったりと、大変でした。

では、なぜ、この木製メッシュパネルSUNは、メッシュなのに、ノロがほとんど出ないのでしょうか？

☞ポイントは、この”3層構造”。

スノコ状の板が直行して、3層合わせになっていて、その間に不織布シートがはさんであります。この不織布がすべてのノロを防いでいるわけではなく、実は、染み出たノロは、3層の板の間を通って下まで流れ落ちているので、表まで達して出ない、という構造なのです。

